

山の自然に親しむ

愛知県勤労者山岳連盟 公開講座

「化石と大地の成り立ち」



講演者：名古屋大学大学院環境研究科教授 竹内 誠 先生

[講演の内容]

北陸地方の約1億5千万年前の地層は、榑海新道付近をはじめとして、恐竜、アンモナイト、二枚貝などの化石が多く産出します。

一方、東海地方は、金華山や木曾川沿いなどに見られる放散虫という0.2 mmほどの微化石を含む地層からなり、同じ時期の地層でも化石の種類や地層の種類は大きく異なっています。

これは何を示しているのでしょうか。山々から産する化石を題材として、日本列島の成り立ちを考えましょう。

基礎編では山岳地域の地質調査、これまで調査・研究対象とされてきた北アルプスを例として、地質調査の方法や山岳地域の地質情報を得る方法を学びます。

日 時：10月10日(土) 15時～

場 所：愛知県勤労者山岳連盟事務所

